

コース名		科目名			対象学年		
人体の構造と機能Ⅱ		機能系統合実習			2		
開講学期		科目責任者		副責任者			
1 学期		毛利 聡					
目的							
1. 実習を通じて生体機能や臨床的に用いられる機器の理解を深め、DP3 の専門的医学知識と医療技術の習得を目的とする。 2. 実習を行う過程で DP1 : 医学・医療の現場での適切なコミュニケーション 及び DP4 : 問題対応能力を向上させる。							
授業到達目標							
動物実験および臨床で用いられている生理機能検査法についての課題に取り組み、生体のホメオスタシスを維持しているメカニズムの統合的理解を深める。グループ単位での実習であり、グループ内で協力して効率良く学修を進められるようにする。							
動物実験：ラット消化管運動に関する実習、ウサギ血圧に関する実習、神経の活動電位に関する実習、骨格筋収縮に関する実習							
1. 実験の意義について説明できる。 2. 実験方法について説明できる。 3. 得られた情報についての解釈ができる。 4. 実験動物等、生命体への配慮やいたわりの心を修得できる。							
生理機能検査実習：ヒト心電図に関する実習、感覚と脳の生理機能に関する実習							
1. 検査の意義について説明できる。 2. 検査法の原理について説明できる。 3. 検査を適切に実施できる。 4. 結果の解釈と病態での変化について説明できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1	5/14	火	3	講義	毛利聡・橋本謙 花島	生理 1	実習書配布、実習説明
2	5/14	火	4	講義	中村丈・氷見 丸山	生理 2	実習説明
3~5	5/15	水	4~6	実習	毛利聡・中村丈 橋本謙・氷見 花島・臼居 丸山	生理 1 生理 2	機能系実習：ラット消化管運動（6つの実習項目をグループ別に順番に行うので、実際の内容は実習書で確認のこと）
6~8	5/16	木	4~6	実習	毛利聡・中村丈 橋本謙・氷見 花島・臼居 丸山	生理 1 生理 2	機能系実習：ヒトの心電図
9~11	5/17	金	4~6	実習	毛利聡・中村丈 橋本謙・氷見 花島・臼居 丸山	生理 1 生理 2	機能系実習：ウサギの血圧
12~14	5/20	月	4~6	実習	毛利聡・中村丈 橋本謙・氷見 花島・臼居 丸山	生理 1 生理 2	機能系実習：神経の活動電位
15~17	5/21	火	4~6	実習	毛利聡・中村丈 橋本謙・氷見 花島・臼居 丸山	生理 1 生理 2	機能系実習：筋収縮
18~20	5/22	水	4~6	実習	毛利聡・中村丈 橋本謙・氷見 花島・臼居 丸山	生理 1 生理 2	機能系実習：感覚
評価方法							
[レポート]80%（実習項目ごとに指導教員の指示に従ってレポートが作成されているか。） [出席状況（受講態度）]20%（自ら進んで実習に取り組んでいるか。） [評価方法]論文・レポート、実習態度評価							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて							
レポートは評価後、返却する。							
教科書							
配布する生理学実習書に従い実習を行う。							

参考書
(特になし)
準備学習（予習・復習等）
実習の前にあらかじめ実習書に目を通し、30分程度の予習により内容の把握に努めること。また、実習後は1時間程度の復習を行うこと。
講義についての注意事項
実習に積極的に取り組むこと。レポート提出は指定期限を厳守すること。
昨年度からの変更点・改善項目
特に変更なし。
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
この科目は、主としてコンピテンスの「全身におよぶ生理的変化や構造の異常を病因や病態と合わせて説明することができる。」と「共同学習や生涯学習の精神を保ち、自身の向上に結びつけることができる。」の達成に向けて設定されている。1年次に学修した「人体の構造と機能コースⅠ」、及び2年次同時期に行われる「生体内情報伝達」と併せて学修する。研究マインドを持ち、新しい医学に貢献できる能力を達成する。2年次後半の医学研究の扉へと続く実習である。
ナンバリング
BPIP211